

第6 資産カルテ（令和元年度決算）

1. 資産カルテの目的

県が管理する大規模な県有施設については、建設後の維持管理など今後の県財政への影響があることから、施設の状況や今後の大規模改修・修繕計画などについての確かな把握に努め、適正かつ効果的な維持管理を行っていくとともに、今後の維持管理や施設整備に対する県民の皆様の理解を得る観点から、施設に関する財務情報をわかりやすく提供していくことが重要と考えます。

このため、県議会からの提言もふまえ、施設の適切な管理と県民の皆様への情報開示のため、大規模施設について「資産カルテ」を作成し、公表しています。

2. 対象施設の考え方

（1）施設の規模

県財政への影響の観点から、施設の規模が相当程度あること。

（2）県民の利用

県民への情報開示の観点から、広く県民に利用されている施設であること。

（3）利用料金の徴収

維持管理費と料金との関係を検証する観点から、利用料金を徴している施設であること。

3. 今年度における対象施設

上記の考え方にに基づき、今年度は、以下の施設の資産カルテを作成しましたので、次頁以下に掲載します。

○三重県総合文化センター

複合文化施設（文化会館、県立図書館など）

○三重県立美術館

○三重県営サンアリーナ

コンベンション施設（メインアリーナ、サブアリーナなど）

○三重交通G スポーツの杜 鈴鹿（三重県営鈴鹿スポーツガーデン）

総合スポーツ施設（水泳場、庭球場など）

○三重交通G スポーツの杜 伊勢（三重県営総合競技場）

総合スポーツ施設（陸上競技場、体育館など）

○三重県総合博物館

4. 資産カルテの活用

県が管理する大規模施設について、長期にわたり計画的かつ効果的な維持管理を進めるとともに、施設に関する財務情報等をわかりやすく提供するため、この資産カルテを活用し、施設の運営管理の状況を多面的にチェックしていくことで、利用者の皆様に良質なサービスを提供し効率的な施設管理を行っていけるよう努めます。

資産カルテ【令和元年度決算】

施設名

三重県総合文化センター

建築年月日	平成6年6月竣工	供用開始日	平成6年10月	延床面積	46,305㎡	敷地面積	62,224㎡
建物構造、構成	鉄骨鉄筋コンクリート造、鉄筋コンクリート造、鉄骨造						
施設運営形態	指定管理者	指定管理者名	公益財団法人三重県文化振興事業団				

	資産	財源	ライフサイクルコスト
これまでの整備	総事業費(A)+(B)+(C) 432億6千4百万円	財源計 432億6千4百万円 (内訳) 国庫支出金 - 地方債 298億6千7百万円 県費その他 133億9千7百万円 (地方債残高 11億2千6百万円)	施設の耐用年数を50年とし、50年間の総コストを計上 建物建設費・改修費累計額① ・これまで 364億6百万円 ・今後 -百万円 計 364億6百万円 修繕費累計額② ・これまで 41億9千万円 ・今後 99億8千9百万円 計 141億7千9百万円
	建物建設費(A) 364億6百万円 1期(当初) 357億5千9百万円 立体駐車場建築 6億4千7百万円 用地費(B) 27億5千3百万円 備品・その他(C) 41億5百万円		人件費累計額③ ・これまで 128億6千3百万円 ・今後 132億3千7百万円 計 261億 円 管理費累計額④ ・これまで 134億 1百万円 ・今後 108億8千4百万円 計 242億8千5百万円 利子累計額⑤ ・これまで 96億7千8百万円 ・今後 9百万円 計 96億8千7百万円
今後の整備			

今後の修繕	修繕計画(予定)	} 99億8千9百万円
	・施設修繕(R2~25) 51億1千万円 ・舞台修繕(R2~25) 48億7千9百万円	

運営費(単年度)	支出額(決算額)			収入額(決算額)		
	R1	H30		R1	H30	
人件費	551,550	533,884	千円	料金収入	175,349	189,917 千円
管理費	453,509	474,009	千円	……A1		
修繕費	85,698	205,147	千円	事業収入等	172,851	140,721 千円
事業費	551,693	469,100	千円	県費負担額	1,412,851	1,660,712 千円
元利償還金	118,601	309,210	千円	……A2		
計	1,761,051	1,991,350	千円	計	1,761,051	1,991,350 千円

ライフサイクルコスト計
①~⑤ 計
1,106億5千7百万円

成果指標(実績は令和元年度)	
目標値①	施設利用率 年間79.8%
実績	年間77.8%
目標値②	
実績	

利用者数
・当初予定利用者数 年間71万人(図書館除く)
・実績(令和元年度) 690,604人(図書館除く) 265,897人(図書館)
計 956,501人 …… B
(参考) 利用者1人当たりの運営費負担額
A1÷B R1 183円
【 H30 171円 】

県民1人当たり運営費負担額	
A2÷C R1 794円	C… (R1推計人口) 1,779,770人(R1.10.1)
A2÷D H30 928円	D… (H30推計人口) 1,790,376人(H30.10.1)

管理運営方針(基本的考え方、料金改訂等)

- ・県民の誰もが文化芸術を享受でき、文化活動に参加・参画できる環境づくりを進める。
- ・運営の中で積み上げてきた事例や蓄積された幅広いノウハウ、成果を県内の市町や県民に情報発信し、新しい地域社会を創造する原動力となる「文化力」を高めていく。
- ・行政機関、民間団体、NPO、ボランティア等との連携を強化し、多様な学習機会、交流の場、発表の場を提供する。
- ・文化芸術、生涯学習、男女共同参画活動の拠点施設として、情報提供、交流、人材育成、活動支援等の専門性を発揮する。

料金体系

【営利】	【非営利】
・大ホール 平日午前 入場料1,000円以下 64,070円	・大ホール 平日午前 入場料1,000円以下 42,710円
・中ホール 平日午前 入場料1,000円以下 32,030円	・中ホール 平日午前 入場料1,000円以下 21,350円
・大会議室 午前 17,930円 など	・大会議室 午前 8,960円 など

施設の耐震化状況

建物構造物は、S56建築基準法改正後建築であるため、耐震基準を満たしている。
吊天井については、H20に大ホール・中ホール、多目的ホール、H23にレセプションホール等の耐震改修工事を実施し終了。

施設のバリアフリー化状況

平成12年度にバリアフリー工事を実施済。(約1.2億円)(スロープ改修・階段手摺設置・点字ブロック設置・トイレ改修・車椅子用駐車場整備他)

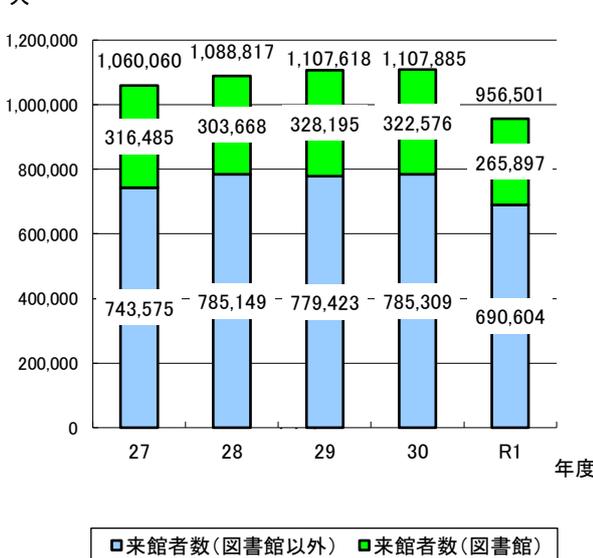
これまでの運営評価と今後の改善方針【担当部評価】(利用率の向上、良質なサービス提供、運営コスト低減など)

経営の効率化、柔軟な事業展開を行うとともに、機動性・弾力性の高さを生かして各種サービスの改善に取り組んできた結果、施設利用率は高水準を維持している(令和2年3月からは新型コロナウイルスの影響で若干落ち込んでいる)。
県の文化芸術・生涯学習・男女共同参画の拠点施設として事業を展開しており、アウトリーチなど市町等との連携を積極的に行っている。今後も複合施設のメリットを生かした事業連携や県内各施設とのさらなる連携を期待する。

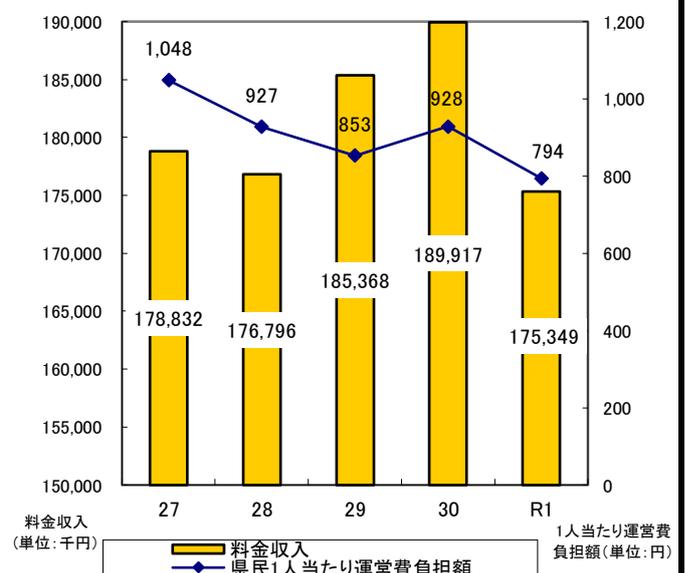
成果指標の推移

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
施設利用率(%)	80.2	80.9	82.5	81.7	77.8

来館者数の推移



料金収入及び県民1人当たり運営費負担額の推移



資産カルテ【令和元年度決算】

施設名

三重県立美術館

建築年月日	昭和57年3月	供用開始日	昭和57年9月	延床面積	10,665.88㎡	用地面積	24,403.80㎡
建物構造、構成	鉄筋コンクリート(一部鉄骨鉄筋コンクリート)造地上2階一部地下1階建						
施設運営形態	一部指定管理者	指定管理者名	公益財団法人三重県文化振興事業団				

	資産		財源		ライフサイクルコスト	
これまでの整備	総事業費(A)+(B)+(C)	86億4千5百万円	財源計	86億4千5百万円	施設の耐用年数を50年とし、50年間の総コストを計上	
	建物建設費(A)	45億8千2百万円	(内訳)		建物建設費・改修費累計額①	
	当初	27億8千2百万円	国庫支出金	} 86億4千5百万円	・これまで 45億8千2百万円	
	増改築	18億円	地方債		・今後 - 百万円	
	用地費(B)	総合教育センター敷地	県費その他		計 45億8千2百万円	
	備品・その他(C)	40億6千3百万円	(地方債残高	6億4千8百万円)	修繕費累計額②	
今後の整備					・これまで 6億4百万円	
					・今後 11億9千9百万円	
					計 18億3百万円	
					人件費累計額③	
					・これまで 43億8千2百万円	
					・今後 11億6千8百万円	
					計 55億5千万円	
					管理費累計額④	
					・これまで 52億2千6百万円	
					・今後 18億7千2百万円	
					計 70億9千8百万円	
					利子累計額⑤	
					・これまで 7億6千万円	
					・今後 1千万円	
					計 7億7千万円	

今後の修繕	修繕計画(予定)		} 11億9千9百万円
	施設設備(R2)	9千7百万円	
	施設設備(R3~4)	2億7千1百万円	
	施設設備(R5~13)	8億3千1百万円	

運営費(単年度)	支出額(決算額)			収入額(決算額)		
	R1	H30		R1	H30	
人件費	97,354	104,674	千円	料金収入	22,354	43,199 千円
管理費	156,026	155,042	千円	……A1		
修繕費	2,543	25,656	千円	事業収入等	0	0 千円
事業費	59,302	60,697	千円	県費負担額	428,287	435,126 千円
元利償還金	138,497	135,195	千円	……A2		
計	453,722	481,264	千円	雑収入	3,081	2,939 千円
				国庫支出金	0	0 千円
				計	453,722	481,264 千円

ライフサイクルコスト計
①~⑤ 計
198億3百万円

成果指標(実績は令和元年度)	
目標値①	入館者数 12万人
実績	130,161人
目標値②	
実績	

利用者数	
・当初予定入館者数	12万人
・実績(令和元年度)	130,161人
計	130,161人 …… B
(参考) 利用者1人当たり運営費負担額	
A1÷B R1	172 円
(H30	251 円)

県民1人当たり運営費負担額					
A2÷C R1	241	円	C…(R1推計人口)	1,779,770	人(R1.10.1)
A2÷D H30	243	円	D…(H30推計人口)	1,790,376	人(H30.10.1)

管理運営方針(基本的考え方、料金改訂等)

- ・明治期以降の日本近代洋画を中心に、現代の生きた動きを物語る作品、日本の作家たちに影響を与えた海外の作品、近世以後の三重県にゆかりの深い美術家の作品などを収集する。
- ・資料収集、調査研究、展示、教育普及など美術館の基本的な機能を重視し、独自の企画展のほか、多彩な展覧会を開催する。
- ・生涯学習活動として、移動美術館、美術セミナー及び各種講座、子どもの体験型ワークショップの実施など地域社会へサービスの充実を図る。
- ・美術館活動の活性化と支援のため、美術館ボランティア「櫻の会」、公益財団法人三重県立美術館協会の会、三重県立美術館友の会、公益財団法人岡田文化財団との協力体制を整備し、それぞれ美術館と連携しながら積極的な活動を展開する。

料金体系

県立美術館 常設展 一般 310円 学生(大学・各種専門学校等) 210円 企画展は、その都度設定
--

施設の耐震化状況

平成20年度にエントランスつり天井改修済。柳原義達記念館A室、企画展示4室のつり天井は平成27年度に改修済。柳原義達記念館の彫刻作品の免震装置は、設置済。その他の彫刻作品、工芸作品の免震装置はなし。

施設のバリアフリー化状況

展示スペースのバリアフリー化は、ほぼ終了している。

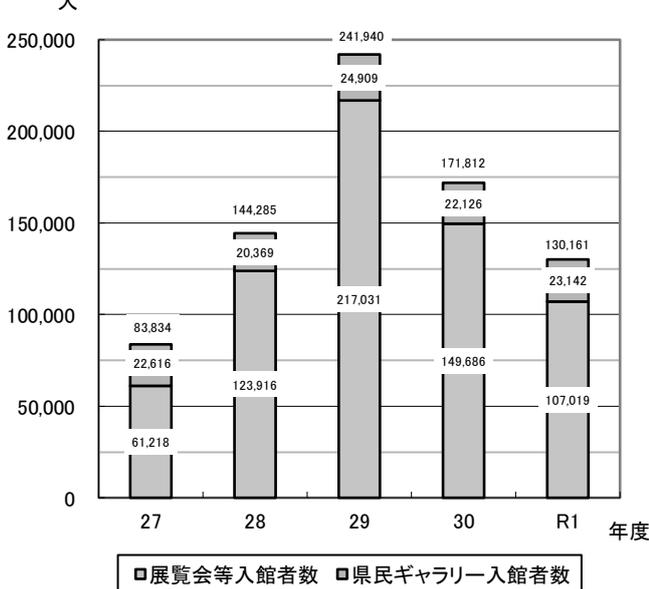
これまでの運営評価と今後の改善方針【担当部評価】(利用率の向上、良質なサービス提供、運営コスト低減など)

美術館活動の支援団体である美術館ボランティア「櫻の会」、公益財団法人三重県立美術館協会の会、三重県立美術館友の会、公益財団法人岡田文化財団等と連携しながら積極的な活動を展開した。限られた経営資源で質の高い企画展を維持しながら、よりきめの細かいサービスを提供していく必要がある。

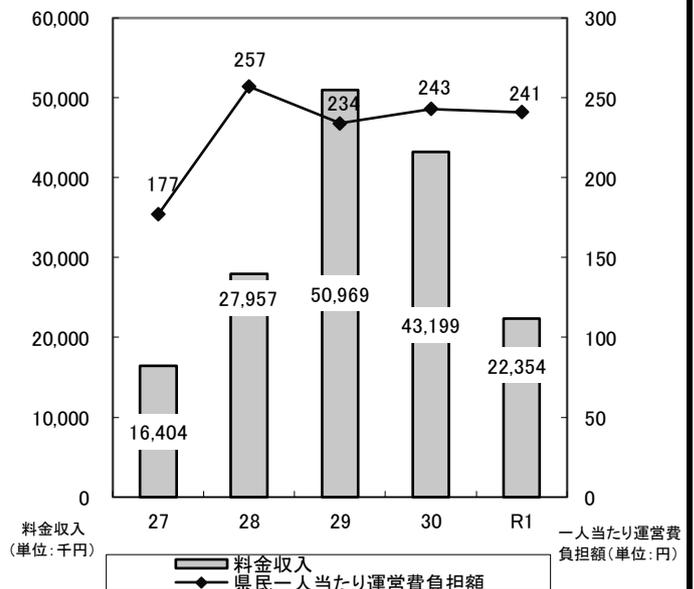
成果指標の推移

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
展覧会等入館者数	61,218	123,916	217,031	149,686	107,019
県民ギャラリー入館者数	22,616	20,369	24,909	22,126	23,142

入館者数の推移



料金収入及び県民一人当たり運営費負担額の推移



資産カルテ【令和元年度決算】

施設名

三重県営サンアリーナ

建築年月日	平成6年5月竣工	供用開始日	平成7年1月4日	延床面積	24,312㎡	敷地面積	28,645㎡
建物構造、構成	鉄筋コンクリート造及び鉄筋造3階建						
施設運営形態	指定管理者	指定管理者名	株式会社 スコルチャ三重				

	資産		財源		ライフサイクルコスト		
これまでの整備	総事業費(A)+(B)+(C)	180億4千万円	財源計	180億4千万円	施設の耐用年数を50年とし、50年間の総コストを計上		
	建物建設費(A) 1期(当初)	160億1千4百万円	(内訳) 国庫支出金 地方債 県費その他	140億2千万円 40億2千万円	建物建設費・改修費累計額① ・これまで 160億1千4百万円 ・今後 ー 百万円 計 160億1千4百万円		
今後の整備	用地費(B)	6億1千6百万円	(地方債残高	5億8千5百万円)	修繕費累計額② ・これまで 16億8千4百万円 ・今後 131億8千5百万円 計 148億6千9百万円		
	備品・その他(C)	14億1千万円			人件費累計額③ ・これまで 23億9千2百万円 ・今後 19億1千9百万円 計 43億1千1百万円		
今後の修繕	修繕計画(予定) 令和2年度～			131億8千5百万円	管理費累計額④ ・これまで 52億7千9百万円 ・今後 46億1千4百万円 計 98億9千3百万円		
					利子累計額⑤ ・これまで 47億5千4百万円 ・今後 5百万円 計 47億5千9百万円		
運営費(単年度)	支出額(決算額)	R1	H30	収入額(決算額)	R1	H30	
	人件費	81,602	75,756	料金収入	107,326	111,786	千円
	管理費	184,577	188,381	……A1			千円
	修繕費	90,469	120,842	事業収入等	23,609	25,401	千円
	事業費	17,577	33,539	国庫負担額	0	3,188	千円
	元利償還金	39,451	391,866	県費負担額	282,741	670,009	千円
	計	413,676	810,384	……A2			千円
				計	413,676	810,384	千円
ライフサイクルコスト計							
①～⑤ 計							498億4千6百万円

成果指標(実績は令和元年度)		
目標値①	メインアリーナ平均稼働率	57.0 %
実績		55.8 %
目標値②	サブアリーナ平均稼働率	67.0 %
実績		69.7 %
目標値③	会議室等平均稼働率	20.0 %
実績		19.1 %
目標値④	サンアリーナ利用人数合計	300,000 人
実績		326,150 人

県民1人当たり運営費負担額			
A2÷C	R1	159 円	C… (R1推計人口) 1,779,770 人(R1.10.1)
A2÷D	H30	374 円	D… (H30推計人口) 1,790,376 人(H30.10.1)

利用者数	
・当初予定利用者数	年間 30 万人
・実績(令和元年度)	326,150 人
計	326,150 人 …… B
(参考) 利用者1人当たり運営費負担額	
A1÷B	R1 329 円
	【 H30 436 円 】

管理運営方針（基本的考え方、料金改訂等）

- ・“であいと交流”のステージを提供します。
- ・新たな“であい”によって文化を育み、“交流”を通じて人々に活力を与えます。
- ・多目的機能を備えた大規模複合施設である特性を活かし、様々な催しを実施し、地域との豊かなコミュニケーションに寄与します。
- ・特色のある文化活動や国際交流、スポーツの普及振興に取り組み、魅力ある三重県に貢献します。
- ・様々な活動を通じて、経済を活性化し、地域振興に寄与します。

料金体系

メインアリーナ【全部利用】

アマチュアスポーツ等 平日 8,430～129,600 円/1H
 土・日・祝 10,080～154,280 円/1H

音楽・プロスポーツ興行
 平日 86,400～129,600 円/1H
 土・日・祝 102,850～154,280 円/1H

サブアリーナ【全部利用】

アマチュアスポーツ等 平日 1,640～30,850 円/1H
 土・日・祝 2,050～37,020 円/1H

音楽・プロスポーツ興行
 平日 20,570～30,850 円/1H
 土・日・祝 25,710～37,020 円/1H

施設の耐震化状況

H18～19 天井耐震改修工事実施

施設のバリアフリー化状況

H13 身障者用駐車場及び屋外通路設置工事
 H24 トレーニング室前身障者トイレ改修工事
 H25,26 障がい者トイレ改修工事
 H29 オストメイトトイレ設置工事

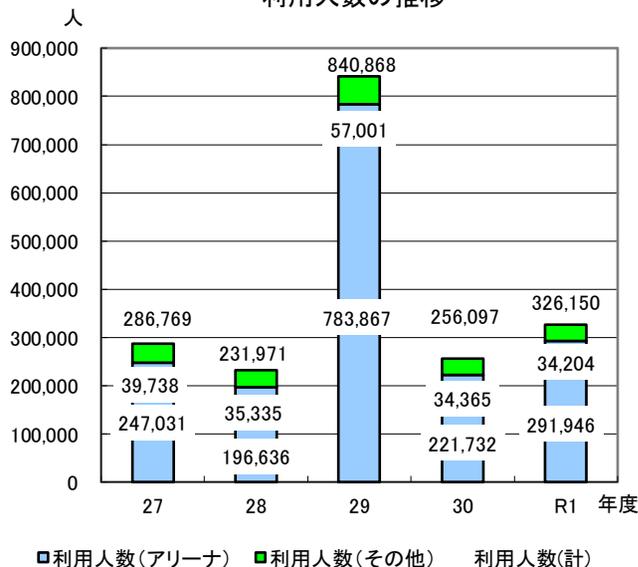
これまでの運営評価と今後の改善方針【担当部評価】（利用率の向上、良質なサービス提供、運営コスト低減など）

地域団体とのコラボレーションに努め、地域と連携した多彩なイベント等を実現し、新たな分野での利用拡大につなげている。また、地域や企業を対象とした体力・健康づくりやコミュニティの活性化に向けた自主事業の取組により、地域の文化・健康づくりや地域経済に貢献している。運営コスト面では、受電先を特定規模電気事業者へ切り替え、電力料金の節減効果を実現するなど、経費節減に努めている。今後は、老朽化が進む施設・設備について、修繕工事により利用促進等への支障をきたすことのないよう運営面での配慮を要する。

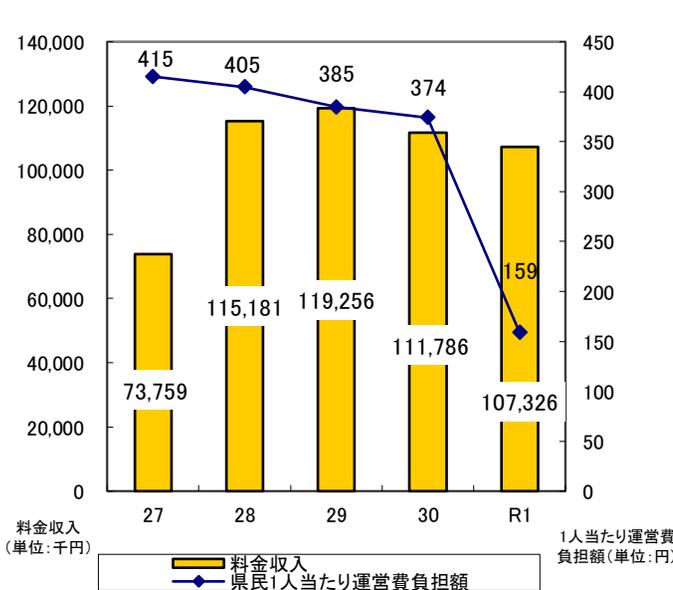
成果指標の推移

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
利用人数	286,769	231,971	840,868	256,097	326,150
平均稼働率(メインアリーナ)	55.4%	65.9%	59.6%	69.0%	55.8%

利用人数の推移



料金収入及び県民1人当たり運営費負担額の推移



資産カルテ【令和元年度決算】

施設名 三重交通G スポーツの杜 鈴鹿(三重県営スポーツガーデン)

建築年月日	平成4年8月	供用開始日	平成4年10月	延床面積	33,964㎡	敷地面積	391,000㎡
建物構造、構成	鉄骨造、鉄筋コンクリート造						
施設運営形態	指定管理者	指定管理者名	三重県体育協会グループ				

	資産		財源		ライフサイクルコスト																																																															
これまでの整備	総事業費(A)+(B)+(C)	188億6千9百万円	財源計	188億6千9百万円	施設の耐用年数を50年とし、50年間の総コストを計上																																																															
	建物建設費(A)	121億4千4百万円	(内訳)		建物建設費・改修費累計額①																																																															
	1期	14億6百万円	国庫支出金		・これまで	133億4千万円																																																														
	2期	92億5千4百万円	地方債	130億5千万円	・今後	24億円																																																														
	3期	14億8千4百万円	県費その他	58億1千9百万円	計	157億4千万円																																																														
	用地費(B)	21億5千2百万円																																																																		
	備品・その他(C)	45億7千3百万円	(地方債残高	5億6千9百万円)																																																																
	過去の改修費	11億9千6百万円			修繕費累計額②																																																															
今後の整備	大規模改修計画(～R23予定)		} 24億円		・これまで	1千6百万円																																																														
	・サッカーラグビー場(芝改修)	6億円			・今後	86億円																																																														
	・水泳場(外壁等)	9億円			計	86億1千6百万円																																																														
	・体育館庭球場(人工芝等更新)	9億円			管理費・人件費累計額③																																																															
					・これまで	100億6千9百万円																																																														
					・今後	93億2千万円																																																														
					計	193億8千9百万円																																																														
今後の修繕	修繕計画(～R23予定)		} 86億円		利子累計額④																																																															
	・サッカーラグビー場機器	5億円			・これまで	30億3千1百万円																																																														
	・水泳場機器	60億円			・今後	8百万円																																																														
	・体育館庭球場機器	21億円			計	30億3千9百万円																																																														
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">運営費(単年度)</th> <th colspan="3">支出額(決算額)</th> <th colspan="3">収入額(決算額)</th> </tr> <tr> <th>R1</th> <th>H30</th> <th></th> <th>R1</th> <th>H30</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人件費</td> <td>55,612</td> <td>54,593</td> <td>千円</td> <td>料金収入</td> <td>97,042</td> <td>104,989</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>管理費</td> <td>372,574</td> <td>378,725</td> <td>千円</td> <td>……A1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>修繕費等</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>千円</td> <td>事業収入等</td> <td>52,131</td> <td>49,957</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td>58,176</td> <td>78,884</td> <td>千円</td> <td>県費負担額</td> <td>372,180</td> <td>555,346</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>元利償還金</td> <td>34,991</td> <td>198,090</td> <td>千円</td> <td>……A2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>521,353</td> <td>710,292</td> <td>千円</td> <td>計</td> <td>521,353</td> <td>710,292</td> <td>千円</td> </tr> </tbody> </table> <p>※修繕費等は管理費に含む</p>								運営費(単年度)	支出額(決算額)			収入額(決算額)			R1	H30		R1	H30		人件費	55,612	54,593	千円	料金収入	97,042	104,989	千円	管理費	372,574	378,725	千円	……A1				修繕費等	0	0	千円	事業収入等	52,131	49,957	千円	事業費	58,176	78,884	千円	県費負担額	372,180	555,346	千円	元利償還金	34,991	198,090	千円	……A2				計	521,353	710,292	千円	計	521,353	710,292	千円
運営費(単年度)	支出額(決算額)			収入額(決算額)																																																																
	R1	H30		R1	H30																																																															
人件費	55,612	54,593	千円	料金収入	97,042	104,989	千円																																																													
管理費	372,574	378,725	千円	……A1																																																																
修繕費等	0	0	千円	事業収入等	52,131	49,957	千円																																																													
事業費	58,176	78,884	千円	県費負担額	372,180	555,346	千円																																																													
元利償還金	34,991	198,090	千円	……A2																																																																
計	521,353	710,292	千円	計	521,353	710,292	千円																																																													
					ライフサイクルコスト計 ①～④ 計 467億8千4百万円																																																															

成果指標(実績は令和元年度)			
目標値①	利用者数(合計)	目標値	512,000人
実績		実績	497,617人
目標値②			—
実績			
県民1人当たり運営費負担額			
A2÷C	R1	209 円	C… (R1推計人口) 1,779,770 人(R1.10.1)
A2÷D	H30	310 円	D… (H30推計人口) 1,790,376 人(H30.10.1)

利用者数	
・当初予定利用者数	年間51万2千人
・実績(令和元年度)	497,617 人
計	497,617 人 …… B
(参考) 利用者1人当たり運営費負担額	
A1÷B	R1 195 円
	【 H30 180 円 】

資産カルテ（続き）

施設名 三重交通G スポーツの杜 鈴鹿(三重県営スポーツガーデン)

管理運営方針(基本的考え方、料金改訂等)

- ・生涯スポーツ振興と競技力向上の拠点となる総合的スポーツ施設としての機能を十分発揮するよう、管理運営を行う。
- ・競技環境の質の維持及び安全性の向上に努める。
- ・効果的かつ効率的な管理運営を行う。
- ・利用者の視点に立った管理運営を行う。

料金体系

水泳場 メインプール・サブプール・トレーニングルーム 一般 450円/回 庭球場 屋外コート 一般 600円/面・時間 シェルターコート 一般 800円/面・時間 センターコート 一般 1,200円/面・時間	サッカーラグビー場 メイングラウンド 一般 3,500円/時間 第1～4グラウンド 一般 1,800円/時間 体育館(全部使用) 平日料金 2,300円/時間 日・祝日料金 2,900円/時間 トレーニングルーム 一般 140円/時間 ※全てアマチュアによる入場料を徴収しない場合
--	---

施設の耐震化状況

建物構造物は、すべてS56. 6. 1建築基準法改正法施行後建築のため、耐震対策済

施設のバリアフリー化状況

身障者用(多目的)トイレ、身障者(車いす)用観覧席、エレベーターを設置済

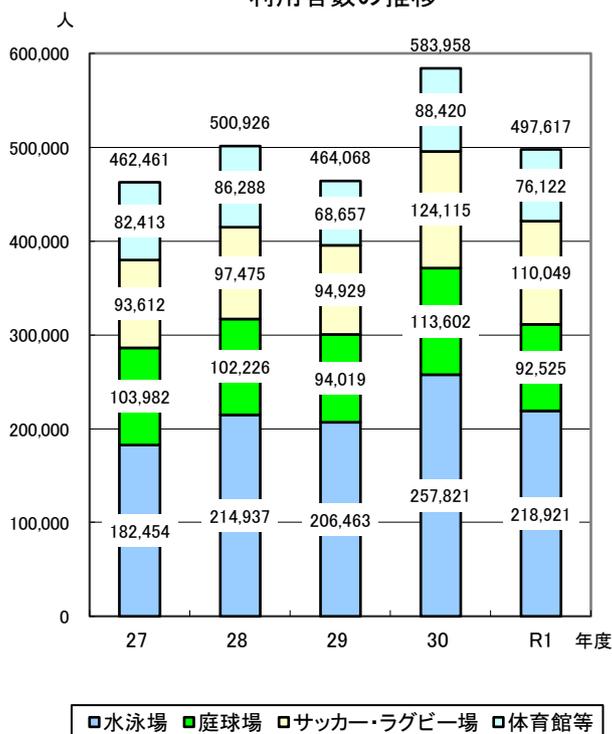
これまでの運営評価と今後の改善方針【担当部評価】(利用率の向上、良質なサービス提供、運営コスト低減など)

- ・競技団体等との利用調整、利用許可や料金収受、施設の維持管理及び修繕等に関する業務を適切に実施している。
- ・利用規定について、利用者の要望に対応できるようにできる限り改定を行っており、より利用しやすい施設の提供に努めている。
- ・休業日の縮小及び営業時間の延長を行っており、利用者サービス及び利便性の向上に努めている。
- ・利用者サービスのさらなる向上に向けた取組を継続していく必要がある。
- ・施設の老朽化対策に予算を確保し、安全・快適な利用環境を維持していく必要がある。

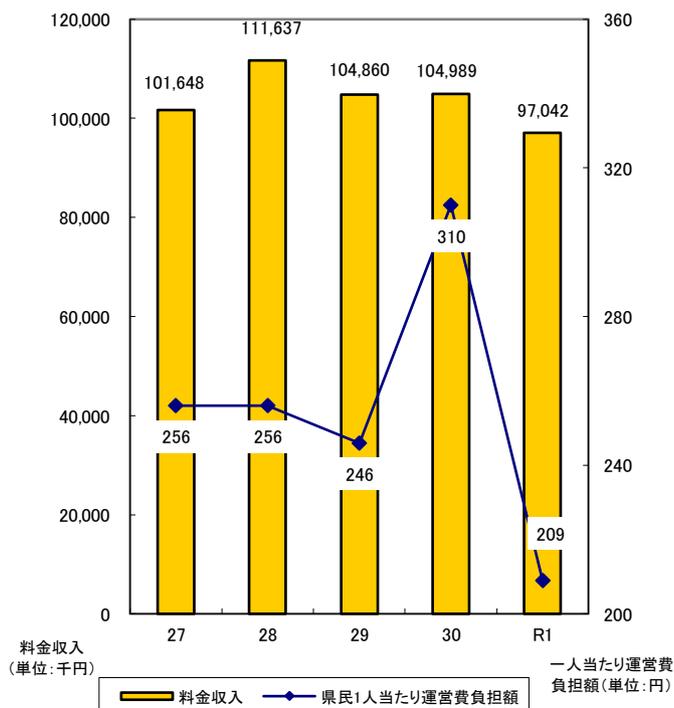
成果指標の推移

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
利用者数(合計)	462,461	500,926	464,068	583,958	497,617

利用者数の推移



料金収入及び県民1人当たり運営費負担額の推移



資産カルテ【令和元年度決算】

施設名 三重交通G スポーツの杜 伊勢(三重県営総合競技場)

建築年月日	昭和39年3月	供用開始日	昭和39年4月	延床面積	27,672㎡	用地面積	185,426㎡
建物構造、構成	鉄骨造、鉄筋コンクリート造						
施設運営形態	指定管理者	指定管理者名	三重県体育協会グループ				

	資産		財源		ライフサイクルコスト	
これまでの整備	総事業費(A)+(B)+(C)	88億5千1百万円	財源計	88億5千2百万円	施設の耐用年数を50年とし、50年間の総コストを計上(S39~H25)	
	建物建設費(A)	85億6千2百万円	(内訳)	88億5千2百万円	建物建設費・改修費累計額①	
	1期	2億1千0百万円	国庫支出金	22億7千5百万円	・これまで	39億5千0百万円
	2期	2億8千0百万円	地方債	} 65億7千7百万円	・今後	- 百万円
	3期	2億6千1百万円	県費その他		計	39億5千0百万円
	4期	5億2千5百万円				
	5期	72億8千6百万円			修繕費累計額②	
	用地費(B)	0百万円			・これまで	0百万円
	備品・その他(C)	2億8千9百万円	(地方債残高	68億9千6百万円)	・今後	- 百万円
	過去の改修費	40億9千6百万円			計	0百万円
今後の整備	大規模改修計画(~R5予定)		} 13億3千万円	人件費累計額③		
	・陸上競技場	1億4千9百万円		・これまで	8億6千6百万円	
	・体育館本館・別館	11億3千4百万円		・今後	- 百万円	
	・五十鈴公園	4千7百万円		計	8億6千6百万円	

今後の修繕	※修繕は、改修にあわせて実施。	
-------	-----------------	--

運営費(単年度)	支出額(決算額)			収入額(決算額)		
	R1	H30		R1	H30	
人件費	41,382	39,709	千円	料金収入	36,929	40,113 千円
管理費	71,797	67,406	千円	……A1		
修繕費等	0	0	千円	事業収入等	11,323	13,850 千円
事業費	2,457	21,125	千円	県費負担額	122,613	108,142 千円
元利償還金	55,229	33,865	千円	……A2		
計	170,865	162,105	千円	計	170,865	162,105 千円
※修繕費等は管理費に含む						

管理費累計額④	
・これまで	15億6千5百万円
・今後	- 百万円
計	15億6千5百万円
利子累計額⑤	
・これまで	2億9千7百万円
・今後	- 百万円
計	2億9千7百万円
※これまでの利子累計額には、未償還利子を含む。	
平成25年度において耐用年数50年を経過したため、更新しない。	
ライフサイクルコスト計	
①~⑤ 計	
66億7千8百万円	

成果指標(実績は令和元年度)			
目標値①	利用者数	目標値	360,000人
実績		実績	380,611人
目標値②			-
実績			
県民1人当たり運営費負担額			
A2÷C	R1	69 円	C… (R1推計人口) 1,779,770 人(R1.10.1)
A2÷D	H30	60 円	D… (H30推計人口) 1,790,376 人(H30.10.1)

利用者数	
・当初予定利用者数	年間36万人
・実績(令和元年度)	380,611 人
計	380,611 人 …… B
(参考) 利用者1人当たり運営費負担額	
A1÷B	R1 97 円
	【 H30 72 円 】

管理運営方針(基本的考え方、料金改訂等)

- ・生涯スポーツ振興と競技力向上の拠点となる総合的スポーツ施設としての機能を十分発揮するよう、管理運営を行う。
- ・競技環境の質の維持及び安全性の向上に努める。
- ・効果的かつ効率的な管理運営を行う。
- ・利用者の視点に立った管理運営を行う。

料金体系

<ul style="list-style-type: none"> ・陸上競技場 全部使用の場合 3,000円/時間 ・補助競技場 全部使用の場合 1,200円/時間 ・付帯投てき場 全部利用の場合 1,200円/時間 ・体育館本館 全部使用の場合 2,400円/時間 ・体育館別館 全部使用の場合 1,200円/時間 	<ul style="list-style-type: none"> ・トレーニングセンター 高校生以下 60円/時間 その他の者 120円/時間 ※全てアマチュアによる入場料を徴収しない場合
---	---

施設の耐震化状況

H9.31に実施した耐震診断の結果、全施設耐震性能があると判定された。体育館本館の吊天井は、H21.7に耐震改修を完了した。陸上競技場メインスタンドは、H29.10に建替した。

施設のバリアフリー化状況

身障者用(多目的)トイレを設置済

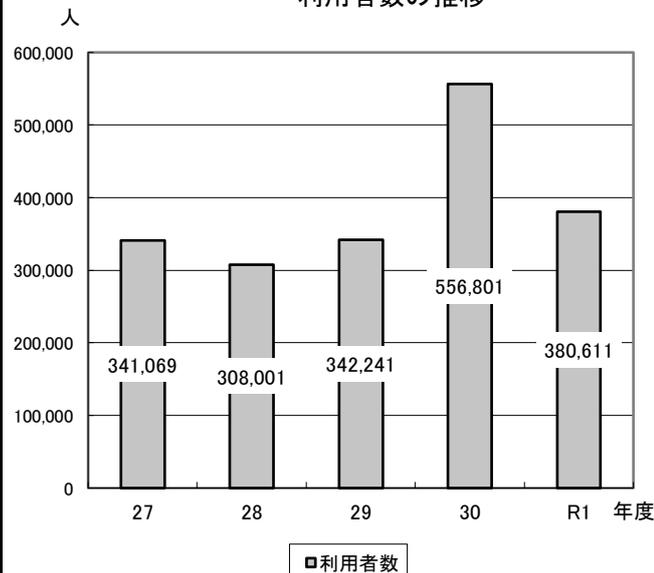
これまでの運営評価と今後の改善方針【担当部評価】(利用率の向上、良質なサービス提供、運営コスト低減など)

- ・競技団体等との利用調整、利用許可や料金收受、施設の維持管理及び修繕等に関する業務を適切に実施している。
- ・利用規定について、利用者の要望に対応できるようにできる限り改定を行っており、より利用しやすい施設の提供に努めている。
- ・休業日の縮小及び営業時間の延長を行っており、利用者サービス及び利便性の向上に努めている。
- ・利用者サービスのさらなる向上に向けた取組を継続していく必要がある。
- ・施設の老朽化対策に予算を確保し、安全・快適な利用環境を維持していく必要がある。
- ・補助競技場、体育館、トレーニングセンター等他施設も含め、さらなる利用拡大のため、広報活動に努めるとともに、選手強化及びスポーツに親しめる施設として運営していく必要がある。

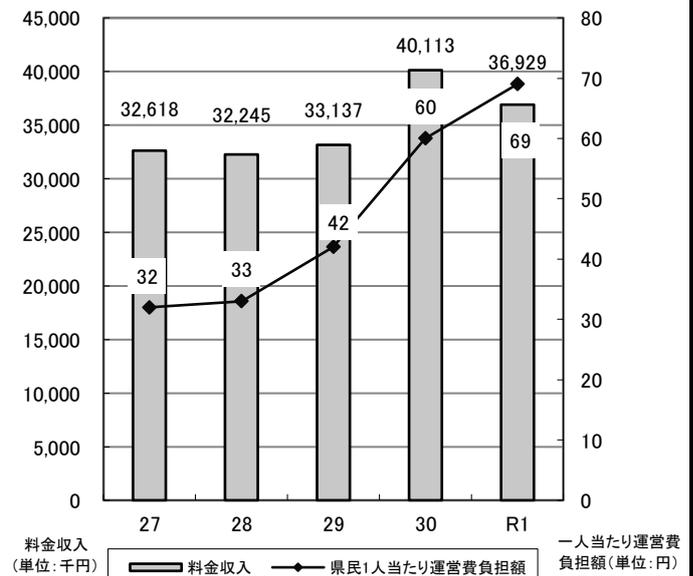
成果指標の推移

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
利用者数	341,069	308,001	342,241	556,801	380,611

利用者数の推移



料金収入及び県民1人当たり運営費負担額の推移



資産カルテ【令和元年度決算】

施設名 三重県総合博物館

建築年月日	平成25年4月	供用開始日	平成26年4月	延床面積	11,705.09㎡	用地面積	38,884.70㎡
建物構造、構成	鉄骨鉄筋コンクリート(一部鉄筋コンクリート)造、免震構造 地上2階地下1階						
施設運営形態	一部指定管理者	指定管理者名	公益財団法人三重県文化振興事業団				

	資産	財源	ライフサイクルコスト
これまでの整備	総事業費(A)+(B)+(C) 110億2千2百万円	財源計 110億2千2百万円 (内訳) 国庫支出金 地方債 } 110億2千2百万円 県費その他 } (地方債残高 50億3千9百万円)	施設の耐用年数を60年とし、60年間の総コストを計上 建物建設費累計額① ・これまで 67億2千3百万円 ・今後 - 百万円 計 67億2千3百万円 修繕費累計額② ・これまで 5百万円 ・今後 73億3千4百万円 計 73億3千9百万円
	用地費(B) 23億9千4百万円 備品・その他(C) 19億5百万円		人件費累計額③ ・これまで 12億8千万円 ・今後 86億4千万円 計 99億2千万円
今後の整備			管理費累計額④ ・これまで 8億5千1百万円 ・今後 78億3千万円 計 86億8千1百万円 利子累計額⑤ ・これまで 4億2百万円 ・今後 1億3百万円 計 5億5百万円

今後の修繕更新	修繕更新計画(予定)	} 73億3千4百万円
	建築・施設設備(R2~5) 2億9千9百万円	
	建築・施設設備(R6~15) 15億5千9百万円	
	建築・施設設備(R16~25) 28億5千6百万円	
	建築・施設設備(R26~35) 8億7千7百万円	
	建築・施設設備(R36~45) 11億2千万円	
	建築・施設設備(R46~55) 6億2千3百万円	

運営費(単年度)	支出額(決算額)			収入額(決算額)				
	R1	H30		R1	H30			
	人件費	197,936	198,247	千円	料金収入	30,226	20,097	千円
	管理費	144,766	140,697	千円	……A1			千円
	修繕費	635	1,374	千円	事業収入等	682,545	755,507	千円
	事業費	181,476	84,598	千円	県費負担額			千円
	元利償還金	209,808	376,224	千円	……A2			千円
	計	734,621	801,140	千円	雑収入	21,850	25,536	千円
				国庫支出金			千円	
				計	734,621	801,140	千円	

ライフサイクルコスト計
①~⑤ 計 331億6千8百万円

成果指標(実績は令和元年度)	
目標値①	展示観覧者数 16万人
実績	191,881人
目標値②	-
実績	-

利用者数	
・当初予定入館者数	26万人
・実績(令和元年度)	247,029人
計	247,029人 …… B
(参考) 利用者1人当たり運営費負担額	A1÷B R1 122円
	(H30 97円)

県民1人当たり運営費負担額			
A2÷C R1	384円	C・(R1推計人口)	1,779,770人(R1.10.1)
A2÷D H30	422円	D・(H30推計人口)	1,790,376人(H30.10.1)

管理運営方針(基本的考え方、料金改訂等)

- ・三重の自然と歴史・文化に関する資産の衰退・散逸・滅失・絶滅を防ぎ、県民の共有財産として次代に引き継ぎ生かすことを目的に、資料を収集・保存する。
- ・県民・利用者の参加・参画を得るとともに、諸団体・諸機関と連携しながら、横断的・総合的な観点に立った幅広い調査研究活動を展開する。
- ・三重の自然や歴史・文化への興味関心を高めるため、各種企画展をはじめ、さまざまな団体や企業との交流展を開催する。
- ・知りたい、学びたい、調べたいなどのさまざまなニーズに対応するとともに、県民・利用者、諸団体、館の相互交流の場となり、新たな創造や発信へとつなげるために、閲覧レファレンス活動事業、学習支援活動事業、諸団体との交流・連携事業を展開する。

料金体系

総合博物館(令和元年10月～)	
基本展示 一般	520円
基本展示 学生(大学、各種専門学校等)	310円
企画展は、その都度設定	
年間パスポート	
一般	1,670円
学生(大学、各種専門学校等)	1,040円

施設の耐震化状況

免震構造

施設のバリアフリー化状況

魅力的で使いやすい博物館をつくるため、ユニバーサルデザインに関する団体との意見交換を定期的に行い、施設のバリアフリー化を行った。

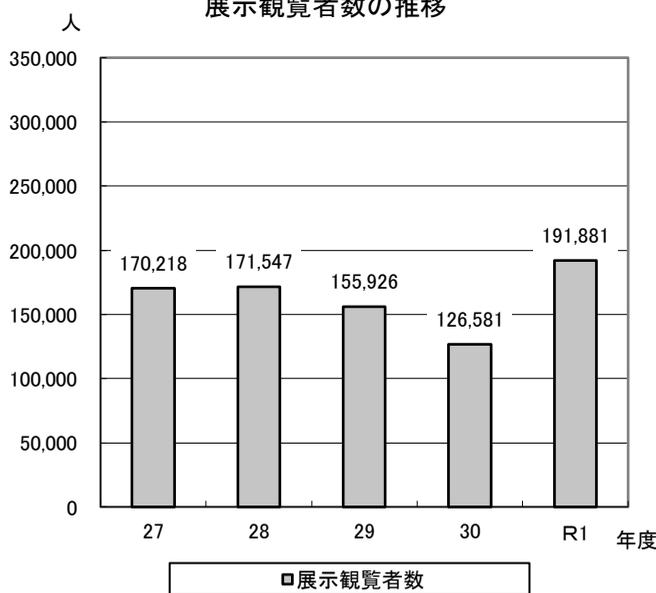
これまでの運営評価と今後の改善方針【担当部評価】(利用率の向上、良質なサービス提供、運営コスト低減など)

県民・利用者のさまざまな関心に応える多彩な展覧会、講座、フィールドワーク、アウトリーチ活動などの実施により、リピーターの確保と利用者の拡大に努めた。
ミュージアムパートナーやボランティアなど個人の利用者をはじめ、大学や企業などの多様な主体との協創・連携した取組を展開する。

成果指標の推移

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
展示観覧者数	170,218	171,547	155,926	126,581	191,881

展示観覧者数の推移



料金収入及び県民一人当たり運営費負担額の推移

